

記者発表資料

さがみ縦貫道路 寒川町倉見地区
「宮山中里遺跡」遺跡見学会のお知らせ

横浜国道事務所では、圏央道の一部となっているさがみ縦貫道路（茅ヶ崎市西久保から相模原市緑区川尻間の延長34kmの自動車専用道路）の整備を進めています。

工事に先立ち「公益財団法人かながわ考古学財団」に埋蔵文化財発掘調査を委託しており、現在調査を進めている宮山中里遺跡(寒川町宮山地先)において「遺跡見学会」を開催します。

当日は、これまで発掘された近世、奈良・平安時代、古墳時代の建物跡や陶磁器類などを見学できます。

1. 日時 平成23年8月6日(土) 荒天時は翌7日(日)に順延
【午前の部】 10時開始(受付 9時30分～)
【午後の部】 14時開始(受付13時30分～)
2. 集合場所 神奈川県高座郡寒川町宮山3449-1
公益財団法人かながわ考古学財団 宮山中里遺跡発掘調査事務所
【交通機関】 JR相模線「宮山」駅下車徒歩7分(参考資料-1参照)
※駐車スペースはありませんので、公共交通機関をご利用下さい。
報道関係の方は上記受付時間に集合場所までお越し下さい。
3. 費用 無料(お申し込みは必要ありません)
4. 主催 公益財団法人かながわ考古学財団 <http://www.kaf.or.jp/gyouji/gensetu/miyayamanakazato.html>
(協力 国土交通省横浜国道事務所・寒川町教育委員会)

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ 藤沢記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 電話 045-311-2981 (代表)
副所長(改築) とくだけ 徳嵩 きみあき 公明 工務課長 いがらし 五十嵐 かずお 一夫

公益財団法人かながわ考古学財団
現場担当 さから 相良 ひでき 英樹 電話 0467-33-4174 (現場事務所)
調査研究部長 すすき 鈴木 じろう 次郎 電話 045-252-8689 (財団本部)

さがみ縦貫道路 寒川町倉見地区

「宮山中里遺跡」遺跡見学会のお知らせ

宮山中里遺跡は高座郡寒川町宮山に所在し、相模川左岸の自然堤防上に立地する遺跡です。さがみ縦貫道路建設事業に伴って平成16年度から調査が行われてきました。調査対象地はJR相模線の宮山駅から倉見駅の間にある倉見川端、倉見川登、宮山中里と複数の遺跡におよんでいます。

今回行われた調査地点からは近世、奈良・平安時代、古墳時代に関する遺構や遺物が見つかっています。これまで不明な点も多かった相模川沿いの古代の様相が明らかになることが期待されます。

期 日：平成23年8月6日（土） ※荒天時は翌7日（日）に順延

時 間：午前の部 10:00 開始(受付 9:30～) / 午後の部 14:00 開始(受付 13:30～)

事前申込：特に必要ありません。

* JR相模線「宮山」駅から調査事務所までは徒歩約7分となります。

* 自家用車でのご来場はご遠慮いただきます。

見学場所：集合場所（調査事務所）での受付・解説後、徒歩で見学会場（発掘調査現場）までの移動となります。（公財）かながわ考古学財団 発掘調査現場

費 用：無料

主 催：（公財）かながわ考古学財団

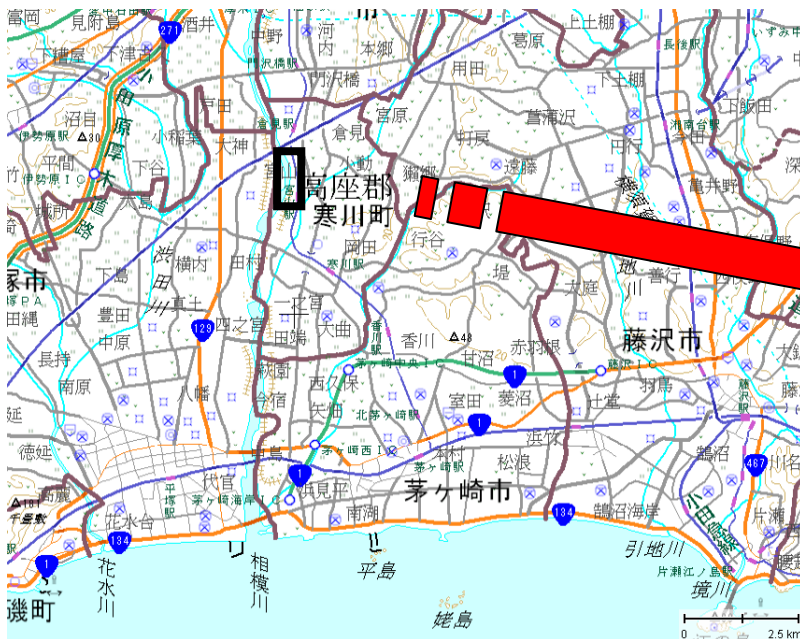
協 力：国土交通省横浜国道事務所・寒川町教育委員会

問い合わせ先：

調査に関して （公財）かながわ考古学財団宮山中里遺跡調査事務所 Tel. 080-5506-5002

会場に関して 野庭出土品整理室 Tel.045-842-9888（問い合わせ期間は見学会前日8/5（金）まで）

案内図



3号畝（遠景）



2号墳確認状況
（近景）



作業状況



しゅとけん ちゅうおう れんらく じどうしゃどう けんおうどう
国道468号 首都圏中央連絡自動車道[圏央道]

概 要

圏央道は、都心から半径およそ40km～60kmの位置に計画された総延長約300kmの環状の高規格幹線道路で、3環状9放射ネットワークの一部を形成し、東京都中心部への交通の適切な分散導入を図り、首都圏全体の交通の円滑化、首都圏の機能の再編成を図る上で重要な路線です。

神奈川県内においては「さがみ縦貫道路」「横浜湘南道路」及び横浜環状道路の一部ともなる「高速横浜環状南線」の3区間に分かれており、湾岸地域と内陸地域を結ぶ新たな交通軸としても期待されています。

これまでに海老名JCT～海老名ICの間の1.9kmが開通しています。

【事業区間】

国道468号 首都圏中央連絡自動車道

(さがみ縦貫道路、横浜湘南道路、高速横浜環状南線)



※未開通区間のIC・JCT名は仮称です。